

## 高齡期の障害者の実態調査について（概要案）

## 1. 目的

高齡期の障害者の生活実態を調査することで、高齡期の障害者が不安に思っていること、解決のために望んでいること等を把握し、今後の施策立案の基礎資料とする。

## 2. 調査対象、内容、方法

調査対象	調査内容	調査方法
当事者	生活及び支援の内容並びにその課題等	県内の関係団体を通じ、40歳以上の障害当事者にアンケート協力を依頼する。 回収率は60%を想定。 400以上のサンプルが集まる数（700）を基準としてアンケート用紙を配布。 （母体となる障害者数の割合で調整あり）  アンケート配布数 ①身体障害1,400 内訳 視覚障害100 聴覚障害100 音声言語そしゃく機能障害100 肢体不自由700 内部障害400  ②知的障害700 ③精神障害700 <hr/> 2,800  ※ 知的、精神は別途個別ヒアリングを検討
市町村	介護保険と障害福祉サービスの適用方法など	県内各市町村（54）への郵送アンケート

民 間 事 業 者	事業者として 感 じ て い る 高 齢 障 害 者 の 課 題 等	県内の事業者にアンケート協力を依頼する。 【依頼先】 ・入所系事業者 ・通所系事業者 ・相談系事業者
--------------	---	--

### 3. アンケート様式

別添（案）のとおり

### 4. 今後のスケジュール

- 23年6月初旬 調査票の配布
- 7月下旬 調査票の回収
- 8月中旬 調査票の集計・分析（委託）
- 11月上旬 結果取りまとめ
- 24年1月下旬 本部会に提示